

業者の不正の後始末につき込まれるのは公的資金、つまり我々の金という不条理

大規模地震で倒壊の恐れがあるマンションやホテルなどが次々とみつかった耐震強度偽装問題。コストダウンを要求する建築主、強度に問題がある建築物を設計した設計者、構造計算書を偽造した建築士、偽造を見逃した国指定の指定確認検査機関など、多くの関係者を巻き込んだ責任問題になっている。今回の一連の事件に関連している企業が手がけた物件が京都にもいくつかあるようだ。この問題、直接関与した業者が責任をとらねばならないのはもちろんだが、震度5弱の地震で倒壊の恐れのあるマンションやホテルの取り壊し費用や、住民や物件の持ち主に対する補償に要する莫大な金をどこまで負担できるというのか。おそらく経済力に限界のある民間業者に代わって、地方公共団体や国が補償の一部を捻出することになるだろう。

先日、大幅増税の骨子がまとまった。数年以内の近い将来には消費税の大幅引き上げが行われる。税金が高くなり、我々の暮らしが良くなるなら快く納税したいが、私利私欲を追求し続けた愚か者の後始末のために多額の税金が費やされるのは、苦痛でしかない。

狙われる子供

「日本は危険だ」ともう気付くべき一刻も早い自己防衛教育の実施を

最新武装!!



- GPS&警報装置
- 後方モニター
- 衣服は防弾防刃素材
- ポリカーボネイト製ゴーグル
- 緊急時、電気ショック発生装置付き
- 多忙時、周囲の状況を録画可能

宇治の学習塾で小6女児を刺殺したということで、塾講師が逮捕された。事前に殺害のための凶器を購入したり、巧みに女児とふたりきりになる状況をつくるなど、殺害までの計画は周到だったものの、殺害後の逃亡や隠ぺいについてはまったく用意していなかったという部分に、加害者の心の問題を感じずにはいられない。

学校や塾でこのような事件があった後、教育機関や保護者が子供の安全確保のためにパトロールを行ったりしているが、子供を対象とした事件は増えるばかり。では、親が塾や学校の送り迎えをすれば防げるのか？ 学校や塾では常に2人の指導者を置けば防げるのか？ 子供を対象とした犯罪に対し、さらなる厳罰を設ければ防げるのか？ どれも決定的な対策とはならないだろう。実にきな臭い話だが、学校で「自己防衛」の授業を設けるとか、保護者を対象とした「安全セミナー」を行い、「この世は危険である」ということを心と体にたたきこむ必要があるのではないのか。

先達に学べ



柱が多ければいいわけじゃないが、最低限、環境に耐え得る設計も。

いそ 御苑内に...



コケラ落としてはサンガ vs FC公家蹴鞠試合!!

スタジアム建設問題

決して建設をあきらめないで欲しい京都のサッカー専用スタジアム構想

京都パープルサンガのJ1昇格が決定した。昇格後、新スタジアム建設の機運が高まっている。シーズン終了後のアワードパーティでは、横大路公園、梅小路公園、植物園を舞台に京都工芸繊維大学の学生がデザインしたスタジアムのモデルも展示 (P.52~53参照)。'03年から始まったスタジアム構想もいよいよ動き出す時が来た!! と思った矢先、横大路公園で進めている現地調査で工事の難しさや環境面、資金面などにおいてさまざまな問題が生じ、事実上の白紙となった。

筆者は梅小路や植物園 (もしくは宝ヶ池) へのスタジアム建設を推す。梅小路は京都府下の住民のアクセスが良いので地方からの観客も見込める。植物園や宝ヶ池なら、赤字の京都市営地下鉄の利用者が増えるし、北山の活性化にも拍車がかかるはずだ。もちろんスタジアム建設には地域の理解や、資金の問題があると思うが、京都のスポーツ文化を根付かせるためにも、スタジアム建設計画を絶対に止めないでほしい。



文◎大塚 祐希

京都で活動するライター集団・大塚祐希事務所CEO。昨年のイスラエル滞在以来、異文化を紹介するTEXTREAM PROJECTを始動。20カ国に及ぶ人々とネットワークを構築し、ボーダレスな活躍を目指す。HP●<http://www1.ocn.ne.jp/tsukapon/>



イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターやイラスト制作をおこなうユニット「キャトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フランス車、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日の公園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP●<http://www.d1.dion.ne.jp/ryoguchi>